

令和 7 年度

災害防除事業

市道春田隠地線災害防除工事

仕 様 書

事業主体 広島県庄原市

施工箇所 庄原市春田町

令和 7 年度

市道春田隠地線災害防除工事

庄原市春田町

地内

工 事 価 格

消 費 税 相 当 額

工 事 費 計

積 算 情 報

工事名	市道春田隠地線災害防除工事		
執行年度	令和 7 年度	諸経費区分	公共 令和06年度
工種区分	道路改良工事	変更回数	
単価適用年月日	令和 7年 5月 1日付 公共	単価地区	51:庄原市(旧総領町,旧東城町,旧高野町を除く)
機損適用年月日	令和 6年度 公共・林道	歩掛適用年月日	令和 6年 8月 公共(令和6年11月一部改定)

補 正 情 報

施工地域及び 工事場所による補正率	共通仮設費 …………… 補正無し 現場管理費 …………… 補正無し 現場環境改善費 …… 大都市・市街地以外
現場環境改善費	計上する
冬期補正	冬期補正無 (0.00 %)
緊急工事補正	緊急工事補正無
前払支出割合区分	3 5 %を超え 4 0 %以下
契約保証に係る補正	契約保証に係る補正を行わない

諸 経 費 設 定 情 報

名 称	値
【 週休2日補正 】	補正なし
【工区名称：道路改良工事02】	
[共通設定]	
施工地域	補正無し
前払金支出割合区分	35%を超え40%以下
契約保証に係る補正	契約保証に係る補正を行わない
工事価格端数調整	千円止め
現場環境改善費計上区分	計上する
諸経費を前回金額に固定	前回金額に固定しない
[共通仮設費]	
率指定	しない
乗算補正(*n)補正前に乗じる	0
乗算補正(*n)補正後に乗じる	0
加算補正(+n) (%)	0
施工地域補正の加重平均まるめ	小数3位四捨五入2位止め
[現場環境改善費]	
率指定	しない
施工地域区分	大都市・市街地以外
乗算補正(*n)	0
加算補正(+n) (%)	0
[現場管理費]	
率指定	しない
施工時期、工事期間による補正	行わない
緊急工事補正	緊急工事補正無
補正率合計値の上限(%)	0
乗算補正(*n)補正前に乗じる	0
乗算補正(*n)補正後に乗じる	0
加算補正(+n) (%)	0
施工地域補正の加重平均まるめ	小数3位四捨五入2位止め

諸 経 費 設 定 情 報

[illegible]

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
道路改良工事02						
道路改良	1	式			Lv1	
道路土工	1	式				処:
掘削工	1	式			Lv2	
掘削	1	式				処:
掘削 片切掘削 土砂	1	式			Lv3	
掘削 片切掘削 土砂	1	式			Lv4	
掘削 片切掘削 土砂	450	m3			P 1 号	
土砂等運搬	1	式			Lv4	
土砂等運搬 標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 4.0km以下 DID区間無 タイヤ損耗費(良好)含む	1	式				処:
建設発生土受入費 砂・砂質土・礫質土 (株)角栄組第3建設残土処分場 受入地 庄原市春田町	500	m3			P 2 号	
法面整形工	500	m3				処:
法面整形(切土部)	1	式			Lv3	
法面整形(切土部)	1	式			Lv4	
法面整形 切土部 土質土、砂及び砂質土、粘性土 現場制約無し	1	式				
法面整形 切土部 土質土、砂及び砂質土、粘性土 現場制約無し	470	m2			P 3 号	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
防草ｺﾝｸﾘｰﾄ	1	式			Lv3	
張りｺﾝｸﾘｰﾄ	1	式			Lv4	
張りｺﾝｸﾘｰﾄ工 t=10cm	6	m2			単 4 号	
法面工	1	式			Lv2	
植生工	1	式			Lv3	
植生基材吹付工	1	式			Lv4	
客土吹付工 厚2cm 施工規模250～500m2未満 時間制約無	470	m2			施 5 号	
擁壁工	1	式			Lv2	
作業土工	1	式			Lv3	
床掘り	1	式			Lv4	
床掘り 土砂 標準 土留無し 障害無し	50	m3			P 6 号	
埋戻し	1	式			Lv4	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	3	m3			P 7 号	
基面整正	1	式			Lv4	
基面整正	40	m2			P 8 号	
既製杭工	1	式			Lv3	
鋼管杭	1	式			Lv4	
鋼管杭打工(中掘工) グラウト注入 継杭有 N値20以上40未満 板厚9～10mm φ400mm以上500mm未満 掘削長16m以下	16	本			施 9 号	
場所打擁壁工(構造物単位)	1	式			Lv3	
重力式擁壁	1	式			Lv4	
重力式擁壁 一般養生 2m以上5m以下 基礎碎石有り 均しコンクリート有り 18-8-40高炉60% 延長無し	85	m3			P 10 号	
裏込碎石	1	式			Lv4	
コンクリート コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物 18-8-40高炉60% 養生無し	18	m3			P 11 号	
裏込碎石 再生クラッシャー40～0	64	m3			P 12 号	

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
排水構造物工	1	式			Lv2	
作業土工	1	式			Lv3	
床掘り	1	式			Lv4	
床掘り 土砂 標準 土留無し 障害無し	3	m3			P 6 号	
埋戻し	1	式			Lv4	
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	2	m3			P 7 号	
基面整正	1	式			Lv4	
基面整正	10	m2			P 8 号	
側溝工	1	式			Lv3	
プレキャストU型側溝	1	式			Lv4	
U型側溝据付け 道路用1種 300C 300×500×2000 昼間 時間制約無 基礎碎石施工有	17	m			施 13 号	
コルゲートU字フリューム据付、流末排水工	1	式			Lv4	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コルゲートフリューム 据付 350×350mm以上550×550mm以下	36	m			P 14 号	
集水枳工 G2-B310-L600-H300	2	個			単 15 号	
流末排水工	1	式			単 16 号	
端部止工	2	箇所			単 17 号	
落石雪害防止工	1	式			Lv2	
落石防護柵工	1	式			Lv3	
□-7°・金網	1	式			Lv4	
落石防護柵設置工(□-7°・金網設置工) 柵高1.50m □-7° 5本(手間のみ) 施工規模15m以上 時間制約無 夜間作業無	15	m			施 18 号	
支柱	1	式			Lv4	
支柱設置工(手間のみ) 中間支柱 柵高1.50m 時間制約無 夜間作業無	4	本			施 19 号	
支柱設置工(手間のみ) 端末支柱 柵高1.50m 時間制約無 夜間作業無	2	本			施 20 号	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
舗装	1	式			Lv2	
舗装工	1	式			Lv3	
アスファルト舗装工	1	式			Lv4	
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚40mm 再生密粒度アスコン(13) 平均幅員1.4m未満 プライムコート 締固密度2.35	5	m2			P 21 号	
上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚70mm 1層施工 粒度調整碎石 M-30	5	m2			P 22 号	
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚160mm 1層施工 再生クラッシャー RC-40	5	m2			P 23 号	
構造物撤去工	1	式			Lv2	処:
構造物取壊し工	1	式			Lv3	
コンクリート構造物取壊し	1	式			Lv4	
構造物とりこわし 鉄筋構造物 機械施工 昼間 時間制約無 低騒音・低振動対策不要	3	m3			施 24 号	
舗装版切断	1	式			Lv4	
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	20	m			P 25 号	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
舗装版破碎	1	式			Lv4	
舗装版破碎 アスファルト舗装版 厚15cm以下 障害等無し 積込作業有 騒音振動対策不要	3	m2			P 26 号	
運搬処理工	1	式			Lv3	処:
殻運搬	1	式			Lv4	
殻運搬 舗装版破碎 機械(騒音対策不要、厚15cm以下) 6.5km以下 DID区間無 タイヤ損耗費(良好)含む	0.1	m3			P 27 号	
殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 8.0km以下 DID区間無 タイヤ損耗費(良好)含む	3	m3			P 28 号	
殻処分	1	式			Lv4	処:
再資源化施設受入費 アス塊 10t,4t,2t (株)大歳組 永宗リサイクルプラント 庄原市新庄町	0.2	t				処:
再資源化施設受入費 コン塊(有筋) 10t,4t,2t (株)大歳組 永宗リサイクルプラント 庄原市新庄町	8	t				処:
仮設工	1	式			Lv2	処:
交通管理工	1	式			Lv3	
交通誘導警備員	1	式			Lv4	

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
交通誘導警備員 B	16	人日			施 29 号	
土留・仮締切工	1	式			Lv3	処:
土のう	1	式			Lv4	処:
大型土のう製作・設置・撤去	151	袋			単 30 号	処:
廃プラスチック処理工	1	式			Lv3	処:
運搬処分	1	式			Lv4	処:
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付2t級 吊能力2.9t DID区間無 運搬距離11.0km以下	0.317	t			P 31 号	
廃プラスチック受入費 大型土のう袋 見積	151	袋				処:
直接工事費計						
共通仮設費計	1	式				
共通仮設費(積上げ)	1	式				
準備費	1	式				処:

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
伐採・集積積込工	1	式			単 38 号	
伐採木運搬処分	1	式			単 39 号	処:
技術管理費	1	式				
サウンディングおよび原位置試験 スクリューウェイト貫入試験 GL-10m以内	6	m				
共通仮設費(率化)	1	式				
共通仮設費率分	1	式				
現場環境改善費率分	1	式				大都市・市街地以外
純工事費	1	式				
現場管理費	1	式				
工事原価	1	式				
一般管理費等	1	式				金銭的保証を必要としない
工事価格	1	式				

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
消費税等相当額	1	式				
合計						

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 1 号 施工パッケージ 】 掘削 片切掘削 土砂								1	m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】			10.05						
バックホ(クロー)[標準・超低騒音型・排対型:3次] 標準バケット 山積0.8m3[平積0.6m3]			10.05						
【労務】			84.73						
普通作業員			74.64						
運転手(特殊)			10.09						
【材料】			5.22						
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			5.22						
【端数調整】									
[条件] [J1] = 1 土質 土砂			[J2] = 2	施工方法 片切掘削					

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 2 号 施工パッケージ 】								1	m3 当り
土砂等運搬 標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 (4.0km以下 DID区間無 ,タイヤ損耗費(良好)含む)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】			45.59						
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級			45.59						
【労務】			39.52						
運転手 (一般)			39.52						
【材料】			14.89						
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			14.89						
【端数調整】									
[条件] [J1] = 1 土砂等発生現場 標準			[J2] = 1 積込機種・規格 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)						
[J3] = 1 土質 土砂(岩塊・玉石混り土含む)			[J4] = 1 DID区間の有無 DID区間無						
[J5] = 7 運搬距離 4.0km以下									

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 3 号 施工パッケージ 】 法面整形 切土部 ㇿ質土、砂及び砂質土、粘性土 (,現場制約無し)								1	m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】			9.71						
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014			9.71						
【労務】			80.61						
普通作業員			38.29						
運転手(特殊)			22.49						
土木一般世話役			19.83						
【材料】			9.68						
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			9.68						
【端数調整】									
[条件] [J1] = 2 整形箇所 切土部			[J3] = 2	現場制約の有無	現場制約無し				
[J4] = 1 土質 ㇿ質土、砂及び砂質土、粘性土			[J5] = 1	費用の内訳	全ての費用				

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 4 号 単価表 】						
張りコンクリート工 t=10cm					1	m2 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物 18-8-20(25)高炉60% 養生無し 計	0.1	m3			P 32 号	
単位当たり						

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 5 号 施工単価表 】						
客土吹付工 厚2cm 施工規模250～500m2未満						1 m2 当り
(時間制約無 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
法面工 植生工(機械幡種施工) 客土吹付工 厚2cm 【材工共】	1	m2				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 9 工種区分 客土吹付工 厚2cm		[B] = 3	施工規模 施工規模250～500m2未満			
[C] = 1 時間制約 時間制約無						

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 6 号 施工パッケージ 】								1 m3 当り
床掘り 土砂 標準								
(土留無し 障害無し ,)								
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
【機械】			23.14					
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014			23.14					
【労務】			53.20					
運転手 (特殊)			53.20					
【材料】			23.66					
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			23.66					
【端数調整】								
[条件] [J1] = 1 土質 土砂			[J2] = 1 施工方法 標準					
[J3] = 1 土留方式の種類 無し			[J4] = 1 障害の有無 障害無し					
[J5] = 1 費用の内訳 全ての費用								

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 7 号 施工パッケージ 】 埋戻し 最大埋戻幅1m未満								1	m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】			9.57						
バックホ(クロー) [後方超小旋回・超低・排2014年] 標準バケット 山積0.45m3 [平積0.35m3]			8.96						
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg			0.61						
【労務】			86.79						
普通作業員			53.01						
特殊作業員			25.36						
運転手 (特殊)			8.42						
【材料】			3.64						
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			2.80						
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油			0.84						
【端数調整】									
[条件] [J1] = 4 施工方法 最大埋戻幅1m未満			[J4] = 1	費用の内訳 全ての費用					

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 8 号 施工パッケージ 】								1	m2 当り
基面整正									
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【労務】			100.00						
普通作業員			100.00						
【端数調整】									

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 9 号 施工単価表 】						
鋼管杭打工(中掘工) グラウト注入 継杭有 N値20以上40未満 板厚9～10mm (φ 400mm以上500mm未満 ,掘削長16m以下)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
溶接工		人				
特殊作業員		人				
とび工		人				
普通作業員		人				
鋼管杭 0.763t/本	10	本				
アースオーガ中掘機運転 オーガ 出力55kW モンケン10t		日				
クローラクレーン運転 油圧駆動式ウインチ・ラフズグ 50-55t吊 排対型:3次基準		日				
バックホウ運転 クローラ型 山積0.5m3(平積0.4) 超低騒排対:2014年規制 損料補正なし		日				
諸 雑 費 (率+丸め)						
労務費、機械損料及び 運転経費の% 計		%				
単位当たり						

市道春田隱地線災害防除工事

【第 9 号 施工单価表】

(続 き)

鋼管杭打工(中掘工) グラウト注入 継杭有 N値20以上40未満 板厚9~10mm

10 本 当 り

($\phi 400\text{mm}$ 以上 500mm 未滿 ,掘削長 16m 以下)

[illegible]

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 10 号 施工パッケージ 】							
重力式擁壁 一般養生 2m以上5m以下 基礎碎石有り 均しコンクリート有り							
(18-8-40高炉60% ,延長無し)							
1	m3 当り						
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			6.83				
コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90～110m3/h			4.33				
その他(機械)							
【労務】			62.90				
型わく工			12.66				
普通作業員			12.46				
土木一般世話役			9.13				
運転手(特殊)			2.14				
その他(労務)							
【材料】			30.27				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%) ,高炉			29.42				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			0.54				

[illegible]

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 11 号 施工パッケージ 】 コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物 (18-8-40高炉60% ,養生無し)								1	m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】			4.27						
コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90～110m3/h			4.23						
その他(機械)									
【労務】			13.76						
普通作業員			6.65						
特殊作業員			2.95						
土木一般世話役			2.13						
運転手 (特殊)			1.90						
その他(労務)									
【材料】			81.97						
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%),高炉			81.12						
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			0.85						

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 11 号 施工パッケージ 】				(続 き)				1 m3 当り	
コンクリート コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物									
(18-8-40高炉60% ,養生無し)									
名 称 ・ 規 格		金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
【端数調整】									
[条件]									
[J1] = 1 構造物種別 無筋・鉄筋構造物				[J9] = 1 打設工法 コンクリートポンプ車打設					
[N1] = 32 コンクリート規格 18-8-40(高炉)W/C60%				[J4] = 1 設計日打設量 10m3以上100m3未満					
[J5] = 1 養生工の種類 養生無し				[J6] = 1 圧送管延長距離区分 延長無し					
[JB] = 1 費用の内訳 全ての費用				[N3] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし					

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 12 号 施工パッケージ 】							
裏込碎石 再生クラッシュラン40～0							
1 m3 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			4.40				
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014			4.38				
その他(機械)							
【労務】			68.06				
普通作業員			33.08				
特殊作業員			14.53				
運転手(特殊)			11.59				
土木一般世話役			8.46				
その他(労務)							
【材料】			27.54				
再生クラッシュラン 40～0mm			22.92				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			4.60				

【 第 12 号 施工パッケージ 】				(続 き)				1 m3 当り	
裏込碎石 再生クラッシュラン40〜0									
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
その他(材料)									
【端数調整】									
[条件] [J1] = 8 碎石の種類 再生クラッシュラン40〜0			[J2] = 1 費用の内訳 全ての費用						

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 13 号 施工単価表 】						
U型側溝据付け 道路用1種 300C 300×500×2000						
(昼間 時間制約無 ,基礎碎石施工有)						
10 m 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 据付け 排水構造物工	10	m				
落ちふた式U形側溝(JISA5372)1種300C 300*500*2,000 参考質量497kg	5	本				
再生クラッシャー 40～0mm	0.624	m3				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 作業区分 据付け		[B] = 1 L=1,000mm、4,000mmの使用の有無 無し				
[C] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無		[D] = 14 U型側溝種類 道路用1種 300C 300×500×2000				
[E] = 3 規格・仕様区分 L=2000mm 1000kg/個以下		[F] = 3 時間制約の有無 時間制約無				
[G] = 1 施工箇所における補正 施工箇所補正無		[H] = 1 基礎碎石施工の有無 基礎碎石施工有				
[I] = 5 基礎碎石の種類 再生クラッシャー 40～0		[J] = 0.520 m3 基礎碎石設計数量				

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 14 号 施工パッケージ 】 コルゲートフリューム 据付 350×350mm以上550×550mm以下								1	m 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】			3.51						
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t 排対型1,2,3次 低騒音			3.51						
【労務】			26.44						
運転手(特殊)			9.85						
普通作業員			8.50						
土木一般世話役			6.17						
特殊作業員			1.90						
その他(労務)									
【材料】			70.05						
ポリエチレン製U字溝 500mm 見積			68.72						
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			1.33						
【端数調整】									

市道春田隱地線災害防除工事

【 第 14 号 施工パッケージ 】

(続 き)

コルゲートフリューム 据付 350×350mm以上550×550mm以下

1 m 当り

[illegible]

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 15 号 単価表 】						
集水桝工 G2-B310-L600-H300					1 個 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリート バックホウ(クレーン機能付)打設 小型構造物 18-8-40高炉60% 一般養生	0.118	m3			P 33 号	
型枠 一般型枠 小型構造物	1.127	m2			P 34 号	
計						
単位当たり						

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 16 号 単価表 】 流末排水工1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
一般管(VP)(JISK6741)PE 呼び径150(165×8.9) 参考質量6.701kg/m	6	m				
硬質塩化ビニル管継手 (VU) 45 ° エルボ φ150mm	2	個				
計						
単位当たり						

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 17 号 単価表 】						
端部止工						
1 箇所 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物 18-8-40高炉60% 養生無し	0.036	m3			P 35 号	
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	0.364	m2			P 36 号	
計						
単位当たり						

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 18 号 施工単価表 】						
落石防護柵設置工(□-7°・金網設置工) 柵高1.50m □-7° 5本 (手間のみ)						
(施工規模15m以上 ,時間制約無 夜間作業無)						
1 m 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
防護柵設置工(落石防護柵) 標準型設置 ロープ・金網設置 柵高1.5m(ロープ5本) (間隔保持材付)	1	m				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 規格・仕様区分 柵高1.50m □-7° 5本		[B] = 1	施工規模 施工規模15m以上			
[C] = 1 時間制約 時間制約無		[D] = 1	夜間作業 夜間作業無			

市道春田隱地線災害防除工事

【第 19 号 施工单価表】

支柱設置工（手間のみ） 中間支柱 柵高1.50m

(時間制約無 夜間作業無 ,)

1 本 当 り

[illegible]

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 20 号 施工単価表 】						
支柱設置工（手間のみ） 端末支柱 柵高1.50m						
（時間制約無 夜間作業無 ，						
）						
1 本 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
防護柵設置工(落石防護柵) 標準型設置 端末支柱設置 柵高1.5m	1	本				
諸 雑 費 （丸め）	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 2 施工区分 端末支柱		[B] = 1	規格・仕様区分 柵高1.50m			
[C] = 1 時間制約 時間制約無		[D] = 1	夜間作業 夜間作業無			

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 21 号 施工パッケージ 】							
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚40mm 再生密粒度ｱｽﾌﾙﾄ(13)							
(平均幅員1.4m未満 ,ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 締固密度2.35)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			0.43				
振動ローラ(舗装用)[ハットガイド式] 運転質量0.5～0.6t			0.24				
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg			0.13				
その他(機械)							
【労務】			42.30				
特殊作業員			18.71				
普通作業員			13.40				
土木一般世話役			4.05				
その他(労務)							
【材料】			57.27				
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)			52.51				
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用			4.54				

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 21 号 施工パッケージ 】 (続 き)							
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚40mm 再生密粒度アスコン(13)							
(平均幅員1.4m未満 ,ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 締固密度2.35)							
1 m2 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油			0.16				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			0.03				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J2] = 40.000 mm 1層当り平均仕上り厚			[J1] = 1 平均幅員 1.4m未満 平均仕上厚50mm以下				
[A1] = 11 材料 再生密粒度アスコン(13)			[J4] = 3 瀝青材料種類 プﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3				
[J6] = 1 費用の内訳 全ての費用			[A2] = 1 アスファルト混合物小型車割増 小型車割増なし				
[A3] = 1 アスファルト混合物夜間割増 夜間割増なし							

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 22 号 施工パッケージ 】							
上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚70mm 1層施工 (粒度調整砕石 M-30 ,)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			9.88				
モータレーダ〔土工用・排対型2次基準〕 プレート幅3.1m			3.96				
ロードロー〔マカダム・排対型:2次基準〕 運転質量10t 締固め幅2.1m			3.13				
<貸>タイヤローラ 質量8～20t 排対型1,2次基準 低騒音			1.01				
その他(機械)							
【労務】			33.13				
運転手(特殊)			15.46				
特殊作業員			5.15				
普通作業員			5.03				
土木一般世話役			1.52				
その他(労務)							
【材料】			56.99				

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 22 号 施工パッケージ 】 (続 き)							
上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚70mm 1層施工							
(粒度調整碎石 M-30 ,)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
粒度調整碎石 30～0mm			53.57				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			2.81				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 10 材料 粒度調整碎石 M-30			[J4] = 70.000 mm 全仕上り厚				
[J5] = 1 施工区分 1層施工			[J7] = 1 費用の内訳 全ての費用				

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 23 号 施工パッケージ 】							
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚160mm 1層施工							
(再生クラッシャー RC-40 ,)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			4.67				
モータレーダ[土工用・排対型2次基準] プレート幅3.1m			1.87				
ロードロー[マカダム・排対型:2次基準] 運転質量10t 締固め幅2.1m			1.48				
<貸>タイヤローラ 質量8～20t 排対型1,2次基準 低騒音			0.48				
その他(機械)							
【労務】			15.69				
運転手(特殊)			7.32				
特殊作業員			2.44				
普通作業員			2.38				
土木一般世話役			0.72				
その他(労務)							
【材料】			79.64				

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 23 号 施工パッケージ 】 (続 き)							
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚160mm 1層施工							
(再生クラッシャー RC-40 ,)							
1	m2 当り						
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
再生クラッシャー 40～0mm			78.02				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			1.33				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 160.000 mm 全仕上り厚			[J2] = 1	施工区分 1層施工			
[J3] = 6 材料 再生クラッシャー RC-40			[J4] = 1	費用の内訳 全ての費用			

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 24 号 施工単価表 】						
構造物とりこわし 鉄筋構造物 機械施工 (昼間 時間制約無 ,低騒音・低振動対策不要)						1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_鉄筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし 構造物とりこわし工	1	m3				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 2 構造物区分 鉄筋構造物		[B] = 1 工法区分 機械施工				
[C] = 3 時間的制約の有無 時間制約無		[D] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無				
[E] = 2 低騒音・低振動対策 低騒音・低振動対策不要						

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 25 号 施工パッケージ 】 舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下								1	m 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】			15.42						
コンクリートカッター[バキューム式(超低騒音型)・湿式] 切削深20cm級 プレート径φ56cm			10.49						
その他(機械)									
【労務】			57.13						
特殊作業員			19.60						
土木一般世話役			10.55						
普通作業員			8.73						
その他(労務)									
【材料】			27.45						
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)			23.29						
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油			2.83						
その他(材料)									

市道春田隱地線災害防除工事

【 第 25 号 施工パッケージ 】

(続 き)

舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下

1 m 当り

[illegible]

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 26 号 施工パッケージ 】							
舗装版破碎 アスファルト舗装版 厚15cm以下							
(障害等無し 積込作業有 ,騒音振動対策不要)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			13.49				
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排対型1,2,3次 低騒音			13.49				
【労務】			80.49				
土木一般世話役			28.91				
運転手(特殊)			27.69				
普通作業員			23.89				
【材料】			6.02				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			6.02				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 舗装版種別 アスファルト舗装版			[J2] = 1 障害等の有無 無し				
[J3] = 1 騒音振動対策 不要			[J4] = 4 舗装版厚 15cm以下				
[J6] = 1 積込作業の有無 有り			[J7] = 1 費用の内訳 全ての費用				

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 27 号 施工パッケージ 】								1	m3 当り
殻運搬 舗装版破碎 機械(騒音対策不要、厚15cm以下)									
(6.5km以下 DID区間無 ,タイヤ損耗費(良好)含む)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】			44.95						
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級			44.95						
【労務】			38.97						
運転手 (一般)			38.97						
【材料】			16.08						
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			16.08						
【端数調整】									
[条件] [J1] = 3 殻発生作業 舗装版破碎 [J3] = 1 DID区間の有無 DID区間無 [JJ] = 1 費用の内訳 全ての費用			[J2] = 3 積込工法区分 機械(騒音対策不要、厚15cm以下) [JA] = 4 運搬距離 6.5km以下						

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 28 号 施工パッケージ 】								1	m3 当り
般運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込									
(8.0km以下 DID区間無 ,タイヤ損耗費(良好)含む)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】			41.69						
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級			41.69						
【労務】			43.88						
運転手 (一般)			43.88						
【材料】			14.43						
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			14.43						
【端数調整】									
[条件] [J1] = 2 般発生作業 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし			[J2] = 1 積込工法区分 機械積込						
[J3] = 1 DID区間の有無 DID区間無			[JE] = 4 運搬距離 8.0km以下						
[JJ] = 1 費用の内訳 全ての費用									

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 29 号 施工単価表 】						
交通誘導警備員 B						1 人日 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
交通誘導警備員B		人				
計						
単位当たり						
[条件]						
[B] = 2 交通誘導警備員区分 交通誘導警備員B						

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 30 号 単価表 】						
大型土のう製作・設置・撤去						
10 袋 当り						
(,処:)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
大型土のう撤去 設置作業半径6m以下	10	袋			施 37 号	
土砂等運搬 標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 4.0km以下 DID区間無 タイヤ損耗費(良好)含む	8.33	m3			P 2 号	
建設発生土受入費 砂・砂質土・礫質土 (株)角栄組第3建設残土処分場 受入地 庄原市春田町	8.33	m3				処:
計						
単位当たり						

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 31 号 施工パッケージ 】							
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付2t級 吊能力2.9t							
(DID区間無 ,運搬距離11.0km以下)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			13.58				
トラック[クレーン装置付] ヘーストラック2t積 吊能力2.9t			13.58				
【労務】			83.54				
運転手（特殊）			42.54				
特殊作業員			41.00				
【材料】			2.88				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			2.88				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 トラック機種 クレーン装置付2t級 吊能力2.9t [J5] = 5 片道運搬距離(km) 11.0km以下			[J4] = 1 DID区間の有無 DID区間無				

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 32 号 施工パッケージ 】 コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物 (18-8-20(25)高炉60% ,養生無し)								1	m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【労務】			35.00						
普通作業員			20.39						
特殊作業員			6.92						
土木一般世話役			5.40						
その他(労務)									
【材料】			65.00						
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-20(25) W/C(60%) ,高炉			65.00						
【端数調整】									
[条件] [J1] = 1 構造物種別 無筋・鉄筋構造物 [N1] = 47 コンクリート規格 18-8-20(25) (高炉)W/C60% [J7] = 1 現場内小運搬の有無 有り [N3] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし			[J9] = 3 打設工法 人力打設 [J5] = 1 養生工の種類 養生無し [JB] = 1 費用の内訳 全ての費用						

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 33 号 施工パッケージ 】							
コンクリート バックホウ(クレーン機能付)打設 小型構造物							
(18-8-40高炉60% ,一般養生)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			3.69				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014			3.49				
その他(機械)							
【労務】			37.88				
普通作業員			11.17				
特殊作業員			10.01				
土木一般世話役			7.75				
運転手(特殊)			6.47				
その他(労務)							
【材料】			58.43				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%) ,高炉			56.64				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			1.69				

【 第 33 号 施工パッケージ 】 (続 き)								1	m3 当り
コンクリート バックホウ(クレーン機能付)打設 小型構造物									
(18-8-40高炉60% ,一般養生)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
その他(材料)									
【端数調整】									
[条件]									
[J1] = 2 構造物種別 小型構造物			[J9] = 2 打設工法 バックホウ(クレーン機能付)打設						
[N1] = 32 コンクリート規格 18-8-40(高炉)W/C60%			[J5] = 2 養生工の種類 一般養生						
[JB] = 1 費用の内訳 全ての費用			[N3] = 1 生の小型車割増 小型車割増なし						

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 34 号 施工パッケージ 】 型枠 一般型枠 小型構造物								1	m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【労務】			100.00						
型わく工			43.77						
普通作業員			31.27						
土木一般世話役			11.92						
その他(労務)									
【端数調整】									
[条件] [J1] = 1 型枠の種類 一般型枠			[J2] = 2 構造物の種類 小型構造物						

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 35 号 施工パッケージ 】 コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物 (18-8-40高炉60% ,養生無し)								1	m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【労務】			35.00						
普通作業員			20.39						
特殊作業員			6.92						
土木一般世話役			5.40						
その他(労務)									
【材料】			65.00						
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%) ,高炉			65.00						
【端数調整】									
[条件] [J1] = 1 構造物種別 無筋・鉄筋構造物 [N1] = 32 コンクリート規格 18-8-40(高炉)W/C60% [J7] = 1 現場内小運搬の有無 有り [N3] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし			[J9] = 3 打設工法 人力打設 [J5] = 1 養生工の種類 養生無し [JB] = 1 費用の内訳 全ての費用						

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 36 号 施工パッケージ 】 型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物								1	m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【労務】			100.00						
型わく工			46.19						
普通作業員			25.55						
土木一般世話役			9.57						
その他(労務)									
【端数調整】									
[条件] [J1] = 1 型枠の種類 一般型枠			[J2] = 1 構造物の種類 鉄筋・無筋構造物						

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 37 号 施工単価表 】

大型土のう撤去 設置作業半径6m以下

10 袋 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
バックホウ運転(クレーン機能付)(賃料) クロー型 山積0.8m3(平積0.6) 排対型:3次基準		日				
諸 雑 費 (丸め)		式				
計	1					
単位当たり						
[条件]						
[A] = 4 作業区分 撤去		[y1] = 4	大型土のう規格 製作しない場合			
[B] = 3 土砂規格 製作しない場合		[C] = 1	設置作業半径 6m以下			
[x1] = 4 バックホウ規格区分 排対型:3次基準						

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 38 号 単価表 】						
伐採・集積積込工						1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
伐採工 特殊作業員		人			単 40 号	
集積積込み（機械施工） BH0.35		日			単 41 号	
計						
単位当たり						

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 39 号 単価表 】						
伐採木運搬処分						
(,処:)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
伐採木・根・竹運搬費 20km以上～25km未満						
見積	3	t				
伐採木・根・竹処分費 木・幹						
見積	3	t				処:
計						
単位当たり						

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 40 号 単価表 】						
伐採工 特殊作業員						1 人 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
チェーンソー運転		日				
計						
単位当たり						

市道春田隠地線災害防除工事

【 第 41 号 単価表 】						
集積積込み（機械施工） BH0.35						1 日 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
運転手（特殊）		人				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.45m3(平積0.35)吊能力2.9t 排対型1,2,3次 低騒音		日				
掴み装置(バックホウ用アタッチメント) 開口幅1,700～2,000mm 爪幅400～750mm	1	供用日				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油		し				
計						
単位当たり						

特記仕様書

第 1 章 総 則

第 1 節 適 用

- 1 本特記仕様書は、**市道 春田穩地線 災害防除工事** に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書（令和 6 年 8 月 広島版（適用区分「広島」及び「広島県」））
 - ※ 土木工事共通仕様書は、「広島県の調達情報」に掲載されている。 <https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
 - ・その他関連規格類

第 2 節 適用除外

- 本工事では、土木工事共通仕様書（令和 6 年 8 月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）における下記の項目については適用しない。
- ・ 1-1-1-27, 1-1-2-20 週休二日の対応
 - ・ 1-1-2-14 施工管理 1. 標示板の設置
 - ・ 1-1-3-7 契約後 V E 工事
 - ・ 1-1-3-9 県産木材の活用
 - ・ 3-1-1-7 工事完成図書の納品 6. 地質調査の電子成果品等

第 3 節 用語等の読みかえ

土木工事共通仕様書（令和 6 年 8 月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）に規定されている用語等については次のとおり読みかえる。

土木工事共通仕様書に規定されている用語等			特記仕様書第 1 章総則で読みかえる用語等
1-1-1-2 用語の定義	6. 設計図書	工事数量総括表	本工事費内訳書
1-1-2-1 適用	2. 共通仕様書の適用	土木工事監督規程	庄原市建設工事監督規程
1-1-2-1 適用	2. 共通仕様書の適用	土木工事検査規程	庄原市建設工事検査規程
1-1-2-2 用語の定義	1. 監督職員	建設工事執行規則（平成8年6月11日規則第39号）	庄原市建設工事執行規則（平成17年3月31日規則第135号）
1-1-2-2 用語の定義	2. 総括監督員	広島県契約規則（昭和39年4月1日規則第32号）	庄原市契約規則（平成17年3月31日規則第47号）
1-1-2-2 用語の定義	4. 技術検査	土木工事検査技術基準	庄原市建設工事検査基準
1-1-2-2 用語の定義	5. 検査職員	建設工事執行規則（平成8年6月11日規則第39号）	庄原市建設工事執行規則（平成17年3月31日規則第135号）
1-1-2-5 工事の下請負	1. 下請負者の資格	広島県の建設工事入札参加資格	庄原市の建設工事入札参加資格
1-1-2-5 工事の下請負	2. 指名除外	広島県の「建設業者等指名除外要綱」の指名停止	庄原市建設業者指名除外基準要綱の指名除外
1-1-2-5 工事の下請負	5. 下請け	広島県内	庄原市内
1-1-2-5 工事の下請負	6. 県外業者を下請業者とする場合の理由書	県外	市外

第 4 節

現場代理人の兼務

- 1 受注者は、請負代金額が 4,500万円（建築一式工事にあつては、9,000万円）未満に該当することにより現場代理人の工事現場への常駐を要しないこととされた場合であつて、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、他の公共工事の現場における現場代理人又は技術者等との兼務を申請することができる。

ただし、令和7年4月3日付「災害復旧工事における特例措置」の期間にあつては、兼務制限の件数から災害復旧工事を除くこととする。

 - （1） 兼務する工事が公共工事であり、庄原市内の工事であること
 - （2） 兼務する工事件数が本件工事を含め3件（災害復旧工事に係る件数を除く）以内であること
 - （3） 兼務する工事が同一の発注者によるものでない場合は、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること
 - （4） 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること
- 2 受注者は、前項に掲げるほか、密接に関係のある他の公共工事（建設業法施行令（昭和31年政令第273号）第27条第2項が適用される工事として、同一の専任の主任技術者による工事の管理が認められたものに限る。）において現場代理人又は主任技術者として配置されている期間であつて、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、他の公共工事の現場における現場代理人又は技術者等との兼務を発注者に申請することができる。
 - （1） 同一の主任技術者による管理が認められた公共工事であること
 - （2） 兼務する工事件数が本件工事を含め2件以内であること
 - （3） 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、兼務の承認を取消すものとする。
 - （1） 兼務に関する事項で、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - （2） 著しい状況の変化により、兼務をすることが適当でなくなったとき
 - （3） その他、発注者の判断で兼務をすることが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行なうことがある。

第 5 節

現場代理人及び主任技術者又は監理技術者

- 1 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者の配置要件の取り扱いについては、土木工事共通仕様書 1-1-3-3 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「5. 配置要件」によらず、次のとおり取り扱う。

一般土木工事（建築一式工事以外）の契約約款第10条第1項第2号の規定により配置する主任技術者又は監理技術者は次によるものとする。

 - （1） 下請契約金額の総額が 5,000万円以上、又は設計図書等において特に定めた場合は、監理技術者を配置する。
 - （2） 請負代金額 4,500万円以上の場合、又は設計図書等において特に定めた場合は、一般建設業・特定建設業を問わず全業者について技術者を専任配置する。
 - （3） 請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満、又は設計図書等において特に定めた場合は、一般建設業・特定建設業を問わず全業者について配置する技術者が、兼務する工事件数（請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満）は、この工事を含めて3件までとする。
 - （4） 請負金額が 4,500万円以上 1億円未満の工事で建設業法施行令第27条第2項が適用される工事にあつては、主任技術者が兼務できる工事件数は、この工事を含めて2件以内とする。

- 2 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者の誓約書の取り扱いについては、土木工事共通仕様書 1-1-3-3 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「6. 誓約書」によらず、次のとおり取り扱う。
- 「現場代理人及び主任技術者等指名（変更）届」には、次の各号に定める誓約書を添付しなければならない。
- (1) 請負代金額が 4,500万円以上、又は設計図書等において特に定めた場合
配置する主任技術者又は監理技術者について、他の工事の主任技術者又は監理技術者として配置していない旨の誓約書。
- (2) 請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満、又は設計図書等において特に定めた場合
配置する主任技術者又は監理技術者について、次の〔1〕又は〔2〕に掲げる主任技術者又は監理技術者若しくは現場代理人として現在 3 件（本件工事は含まない。）以上の工事に配置していない旨の誓約書。
- 〔1〕 500万円以上 4,500万円未満（建築一式工事については、1,500万円以上 9,000万円未満）の建設工事の主任技術者又は監理技術者
- 〔2〕 災害復旧工事以外の工事の現場代理人

第 6 節 中間検査

本工事は、中間検査の対象工事とし、実施については次のとおり取り扱う。

- 1 中間検査の実施は、工事の主要工程を考慮し、施工上の重要な変化点等で行うものとし、時期選定は、監督職員が行う。
- 2 原則として、請負代金額が 1,000万円以上 1億円未満の工事は、中間検査を 1 回実施し、1億円以上の工事は 2 回実施する。ただし、災害復旧工事等については、請負代金額が 5,000万円以上 1億円未満の工事について、中間検査を 1 回実施し、1億円以上の工事は、2 回実施する。

第 7 節 情報共有システム

本工事は、受注者からの申し出により監督員が承諾した場合に限り、情報共有システムを利用することができる。なお、利用することとなった場合には土木工事共通仕様書 1-1-1-25 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

第 8 節 工事現場の現場環境改善費

本工事は、現場環境改善及び地域連携に資する経費に関して、設計計上を行っており、実施については土木工事共通仕様書1-1-3-10工事現場の環境改善等に従うこと。

第 9 節 工事関係書類の事前協議

受注者は、「土木工事書類作成マニュアル（案）令和2年11月 広島県」に記載のある「2 工事関係書類一覧」に基づき、工事着手前に、工事書類の電子又は紙による提出又は提示方法を監督員と事前協議し決定する。ただし、出来形管理図表・品質管理表・工事写真の提出又は提示方法については、紙に変更できるものとする。

第 10 節

遠隔地からの労働者を確保する場合の積算方法

- 1 「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の次に示す費用（以下「実績変更対象費」という。）について、工事実施に当たって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、積算基準書等の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更を行う。
 営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上げ費（宿泊費、借上げ費については労働者確保に係るものに限る。）
 労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用
- 2 受注者は、遠隔地から労働者を確保する場合、実績変更対象費の割合を参考にし、工事着手までに実施計画書を作成し、監督職員に提出する。
- 3 最終精算変更時点において、実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更が必要な場合は、実績報告書及び実績変更対象費について実際に支払った全ての証明書類（領収書、領収書の出ないものは金額の妥当性を証明する書類等。）を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- 4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。
- 5 実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、積算基準書等に基づき算出した額における実績変更対象費を差し引いた額を加算して算出する。
 なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。
- 6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名除外等の措置を行う場合がある。
- 7 疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- 8 本工事における実績変更対象費の割合は次のとおりである。
 （1） 共通仮設費（率分）に占める実績変更対象費（労働者送迎費、宿泊費、借上げ費）の割合： 12.82%
 （2） 現場管理費に占める実績変更対象費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合： 1.59%

第 11 節

法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 （1）工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 （2）上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 （3）上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第 12 節

建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
 - ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
 - イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- （1）建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- （2）建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- （3）建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- （4）建設発生土の搬出量
- （5）建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- （1）国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- （2）受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- （3）ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
- （4）9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第 2 章 施工条件

第 1 節 安全対策

1 交通誘導員・保安要員

内容

掘削作業期間、交通誘導員を 1（人/日）配置すること。

施工に当り、配置計画等を監督職員と協議すること。

交通誘導員を配置した場合、配置写真、伝票及び日報を提出すること。

第 2 節 建設副産物

1 建設発生土【搬出】（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積））（指定処分（A））

当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所

(株)角栄組 第3建設発生土処分場

庄原市春田町字永面田46-1

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

第 3 章 その他

- 1 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。
- 2 事前に関係河川漁協と協議を行い、同意等の承諾を得ること。
- 3 本工事における濁水の影響が想定される場合は、監督職員と協議すること。

1.数量総括表

<工事区分:道路改良>

工種	種別	細別	規格	単位	数量	計上数量	備考
道路土工							
	掘削工						
		掘削(片切)	砂	m3	450.6	450	
	法面整形工						
		法面整形(切土部)	砂	m2	468.5	470	
	防草コンクリート						
		張りコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m2	6.4	6	
	残土処理工						
		土砂等運搬	(残土処分等含む)	m3	502.0	500	
法面工							
	植生工						
		植生基材吹付工	t=2cm	m2	468.5	470	
擁壁工							
	作業土工						
		床掘	砂	m3	54.9	50	
		埋戻		〃	3.2	3	
		基面整正	砂	m2	44.8	40	
	既製杭工						
		鋼管杭	$\phi 500$ t=9mm L=7m	本	16.0	16	
	場所打擁壁工						
		コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m3	85.2	85	
		型枠	$H \leq 30\text{m}$	m2	133.7	134	
		均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ 、t=10cm	m2	42.2	42	
		同型枠		m2	3.8	4	
		基礎砕石	t=20cm	m2	42.2	42	
		埋戻コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m3	17.7	18	
		裏込砕石	RC-40	m3	64.0	64	
		足場	単管傾斜、 $H \leq 30\text{m}$	掛m2	117.4	117	
		目地板	瀝青質目地板 10mm	m2	5.4	5	
		水抜パイプ	$\phi 100$	m	13.2	13	
排水構造物工							
	作業土工						
		床掘	砂	m3	2.5	3	
		埋戻		〃	2.2	2	
		基面整正	砂	m2	6.6	10	

工種	種別	細別	規格	単位	数量	計上数量	備考
	側溝工						
		プレキャストU型側溝	B300-H500	m	16.6	17	
		コルゲートU字フリューム	D-500×250	m	35.7	36	
	集水枡・マンホール工						
		接続枡	G2-B310-L600-H300	箇所	2.0	2	
	流末排水工						
		VP管	φ150、L=2.90m	m	5.8	6	
		45° エルボ		個	2.0	2	
	端部止工						
		コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	0.1	0.1	
		型枠		m ²	0.7	1	
落石雪害防止工							
	落石防護柵工						
		ロープ、金網	H=1.5m	m	15.0	15	
		中間支柱(H-200×100×5.5×8、L=2350)		本	4.0	4	
		端末支柱(H-150×150×7×10、L=2350)		本	2.0	2	
構造物撤去工							
	構造物取壊し工						
		コンクリート構造物取壊し工		m ³	3.0	3	
		舗装盤切断	As舗装、t=4cm	m	16.6	20	
		舗装盤破碎	As舗装 t=4cm	m ²	3.1	3	
	排水構造物撤去工						
		グレーチング蓋撤去		枚	1.0	1	
	運搬処理工						
		コンクリート		m ³	3.0	3	
				t	7.5	8	2.50t/m ³
		アスファルト		m ³	0.1	0.1	
				t	0.2	0.2	2.35t/m ³
仮設工							
	土留・仮締切工						
		大型土のう	撤去	袋	151.0	151	
	廃プラスチック処理工						
		廃プラ運搬	土のう袋	回	1.0	1	
		廃プラ処分	2.1kg/袋	kg	317.1	317	
舗装工							
	アスファルト舗装工(車道・路肩部)						
		表層(4cm、再生密粒度As)		m ²	5.3	5	
		上層路盤(7cm、粒調碎石M-30)		〃	5.3	5	
		下層路盤(16cm、再生切込碎石RC-40)		〃	5.3	5	

鋼管杭材料表

鋼管杭属性情報																			
工種	種別	杭径 φ (mm)	材質	板厚 (mm)	杭長 (m)	質量 (kg)	杭1本当り												杭総本数
							端部補強 バンド (kg)	端部補強 溶接長 (m)	水中コンクリート (m³)	中詰コンクリート (m³)	中詰コンクリート種類 σck (N/mm²)	切込砕石 (m³)	スレ止リング 質量 (kg)	スレ止ストッパー (個)	吊り金具 (kg)	鉄筋溶接長 (m)	スレ止リング 溶接長 (m)	その他付属品 (kg)	
擁壁		500	SKK400	9	7.0	763.0	22.6	3.1	0.365	0.182	18	0.018	10.6	6	4.5	0.4	6.2	20.4	16

加重平均 N 値

工種	種別	杭規格					土質区分									
		種別	径 (mm)	長さ (m)	板厚 (mm)	本数 (本)	土質層No		1	2	3	4	5	6	計	加重平均 N値
擁壁	鋼管杭	500	7.0	9	16	前列杭	土質	砂質土	砂質土	軟岩						21
							N 値	12	24	60						
							層厚 L (m)	4.94	0.90	1.16				7.00 ≒ 7.0		
							N × L	59.28	21.60	69.60				150.48		
						後列杭	土質	砂質土	砂質土	軟岩						26
							N 値	12	24	60						
							層厚 L (m)	4.21	1.00	1.79				7.00 ≒ 7.0		
							N × L	50.52	24.00	107.40				181.92		

備考

備考

土量配分表



残土処分等

土砂	V= 450.6+57.4-(0+0+6)	= 502.0 m3
粘性土	V= 0.0 m3	※残土処分
軟岩I	V= 0.0 m3	
軟岩II	V= 0.0 m3	

2.土工

土工 数量計算書(1)

測点	距離 (m)	C 片切掘削			L1 張コンクリート(切土部)						摘要
		断面積	平均	立積	長さ	平均	面積				
ANO.0-11.0		0.0									
ANO.0	11.2	17.5	8.75	98.0	0.4						
ANO.0+6.5	6.5	8.8	13.15	85.5	0.4	0.40	2.6				
ANO.1	3.5	12.2	10.50	36.8	0.4	0.40	1.4				
ANO.1+6.0	6.0	26.0	19.10	114.6	0.4	0.40	2.4				
ANO.1+14.9	8.9	0.0	13.00	115.7							
計	36.1			450.6			6.4				

・法面整形(切土部)

A1斜比 $\sqrt{(1+0.8^2)}$

A2斜比 $\sqrt{(1+1)}$

A3斜比 $\sqrt{(1+1.5^2)}$

= 1.281

= 1.414

= 1.803

A1= 42.12 × 1.281

A2= 213.04 × 1.414

A3= 62.86 × 1.803

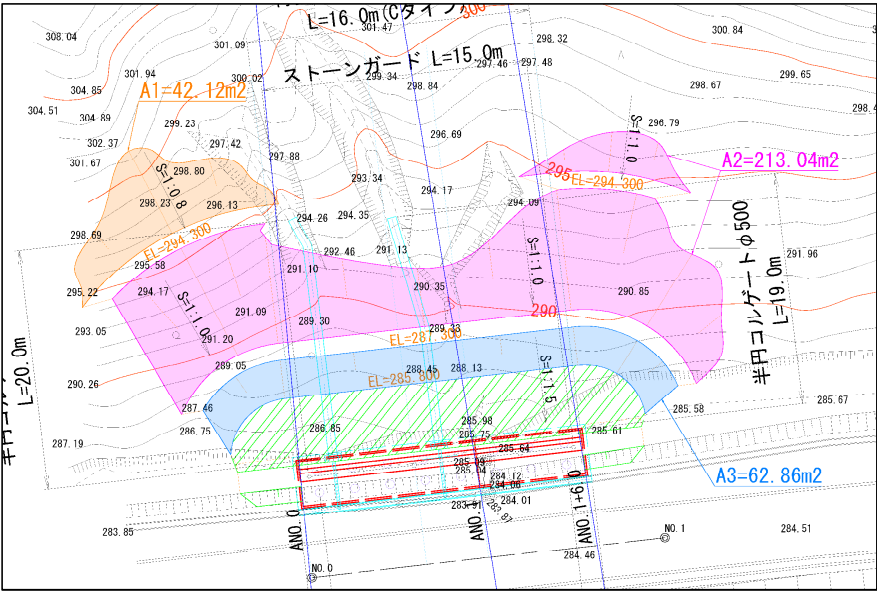
= 53.96 m2

= 301.24 m2

= 113.34 m2

A1+A2+A3=

= 468.54 m2



3.法面工

・植生基材吹付工 (t=2cm)

A=

= 468.54 m2

4.擁壁工

擁壁 作業土工 数量計算書(1)

測点	距離 (m)	E 床掘			Fu 埋戻(種別:D)			K 基面整正		
		断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	長さ	平均	立積
ANO.0		3.3			0.2			2.8		
ANO.0+6.5	6.5	3.4	3.35	21.8	0.2	0.20	1.3	2.8	2.80	18.2
ANO.1	3.5	3.5	3.45	12.1	0.2	0.20	0.7	2.8	2.80	9.8
ANO.1+6.0	6.0	3.5	3.50	21.0	0.2	0.20	1.2	2.8	2.80	16.8
計	16.0			54.9			3.2			44.8
測点	距離 (m)	Gv 裏込砕石			埋戻Con 埋戻コンクリート					
		断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	長さ	平均	立積
ANO.0		4.0			1.1					
ANO.0+6.5	6.5	4.0	4.00	26.0	1.1	1.10	7.2			
ANO.1	3.5	4.0	4.00	14.0	1.1	1.10	3.9			
ANO.1+6.0	6.0	4.0	4.00	24.0	1.1	1.10	6.6			
計	16.0			64.0			17.7			

4-2.場所打擁壁工

コンクリート($\sigma_{ck}=18\text{kN/mm}^2$)

$$\begin{aligned}
 V1 &= (0.500+2.600) \times 1/2 \times 3.500 \times 10.000 \\
 &\quad - 1/4 \times \pi \times 0.500^2 \times 0.500 \times 10 \\
 &= 53.268 \\
 V2 &= (0.500+2.600) \times 1/2 \times 3.500 \times 6.000 \\
 &\quad - 1/4 \times \pi \times 0.500^2 \times 0.500 \times 6 \\
 &= 31.961 \\
 \Sigma V &= 85.229
 \end{aligned}$$

型枠

$$\begin{aligned}
 A1 &= 3.500 \times \sqrt{(1+0.4^2)} \times 16.000 \\
 &= 60.314 \\
 A2 &= 3.500 \times \sqrt{(1+0.2^2)} \times 16.000 \\
 &= 57.109 \\
 A3 &= (0.500+2.600) \times 1/2 \times 3.500 \times 3 \\
 &= 16.275 \\
 \Sigma A &= 133.698
 \end{aligned}$$

均しコンクリート($\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ 、 $t=10\text{cm}$)

$$\begin{aligned}
 A &= 2.800 \times 16.200 - 1/4 \times \pi \times 0.500^2 \times 16 \\
 &= 42.218 \\
 (V &= 42.218 \times 0.100 \\
 &= 4.222
 \end{aligned}$$

同型枠

$$A = (2.800+16.200) \times 2 \times 0.100 = 3.800$$

基礎碎石 (RC-40、t=20cm)

$$A = \quad (\text{均しコンクリートより}) \quad = 42.218$$

$$(V = 42.218 \times 0.200 \quad = 8.444$$

水抜パイプ (φ 100)

$$L = 2.2 \times 6 \quad = 13.2$$

足場 (単管傾斜、 $H \leq 30\text{m}$)

$$A1 = 3.50 \times \sqrt{(1+0.4^2)} \times 16.00 \quad = 60.3$$

$$A2 = 3.50 \times \sqrt{(1+0.2^2)} \times 16.00 \quad = 57.1$$

$$\Sigma A = \quad = 117.4$$

目地板 (瀝青質目地板、t=10mm)

$$V = (0.500 + 2.600) \times 1/2 \times 3.500 \quad = 5.425$$

摘要
摘要

m3

m3

m3

m2

//

//

//

m2

m3)

m2

m2
m3)

m

掛m2
"
"

m2

4-3.基礎杭工

(1)杭本数・杭長

杭種・杭径 (mm)	杭長 (m)	肉厚 (mm)	杭本数 (本)
鋼管杭 φ500	7.00	9	16

(2)杭1本当り数量

a) 鋼管杭質量

$$W = 7.00 \times 109 \text{ kg/m} = 763.0 \text{ kg}$$

b) 杭打設

前 列 杭				
層No	土質	N値	層厚h(m)	N × h
1	砂質土	12	4.94	59.28
2	砂質土	24	0.90	21.60
3	軟岩	60	1.16	69.60
合計(平均)		(21)	7.00	150.48

後 列 杭				
層No	土質	N値	層厚h(m)	N × h
1	砂質土	12	4.21	50.52
2	砂質土	24	1.00	24.00
3	軟岩	60	1.79	107.40
合計(平均)		(26)	7.00	181.92

c) 杭頭処理工

・中詰めコンクリート($\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$)

$$V = 1/4 \times \pi \times 0.482^2 \times 1.000 = 0.182 \text{ m}^3$$

・切込碎石(C-40以下)

$$V = 1/4 \times \pi \times 0.482^2 \times 0.100 = 0.018 \text{ m}^3$$

・ズレ止リング

$$W = 5.5 + 5.1 = 10.6 \text{ kg}$$

・ズレ止ストッパー

$$N = 6 \text{ 個}$$

・ズレ止リング溶接長

$$L = (0.482 + 0.500) \times \pi \times 2 = 6.2 \text{ m}$$

・吊金具

$$W = 4.5 \text{ kg}$$

・吊鉄筋溶接長

$$L = 0.1 \times 4 = 0.4 \text{ m}$$

d) 杭先端処理工

・水中コンクリート

$$V = 1/4 \times \pi \times 0.482^2 \times 2.000 = 0.365 \text{ m}^3$$

・端部補強バンド

$$W = 22.6 \text{ kg}$$

・端部補強溶接長

$$L = 0.500 \times \pi \times 2 = 3.1 \text{ m}$$

e) その他の附属品

$$W = 11.2 + 9.2 = 20.4 \text{ kg}$$

5.排水構造物工

排水構造物 作業土工 数量計算書(1)

測点	距離 (m)	E 床掘			Fu 埋戻(種別:D)			K 基面整正		
		断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	断面積	平均	立積
ANO.0-0.3		0.2			0.1			0.4		
ANO.0	0.3	0.2	0.20	0.1	0.1	0.10	0.03	0.4	0.40	0.1
ANO.0+6.5	6.5	0.1	0.15	1.0	0.1	0.10	0.70	0.4	0.40	2.6
AN.1.0	3.5	0.1	0.10	0.4	0.2	0.15	0.50	0.4	0.40	1.4
ANO.1+6.0	6.0	0.2	0.15	0.9	0.1	0.15	0.90	0.4	0.40	2.4
ANO.1+6.3	0.3	0.2	0.20	0.1	0.1	0.10	0.03	0.4	0.40	0.1
計	16.6			2.5			2.2			6.6

5-2.延長調書

道路側溝 B300-H500		コルゲートU字フリューム		G2-B310-L600-H300	
測点	延長	測点	延長	測点	箇所
<左側>		<左側>		<左側>	
ANO.0-0.3~		ANO.0+2.0	18.5	ANO.0+2.0	1.0
ANO.1+6.3	16.6	ANO.0+8.0	17.2	ANO.0+8.0	1.0
合計	16.6	合計	35.7	合計	2.0
VP管(φ150、L=2.90m)		45° エルボ		端部止工	
測点	延長	測点	個	測点	箇所
<左側>		<左側>		<左側>	
ANO.0+2.0	2.9	ANO.0+2.0	1.0	ANO.0+2.0	1.0
ANO.0+8.0	2.9	ANO.0+8.0	1.0	ANO.0+8.0	1.0
合計	5.8	合計	2.0	合計	2.0

摘要

|

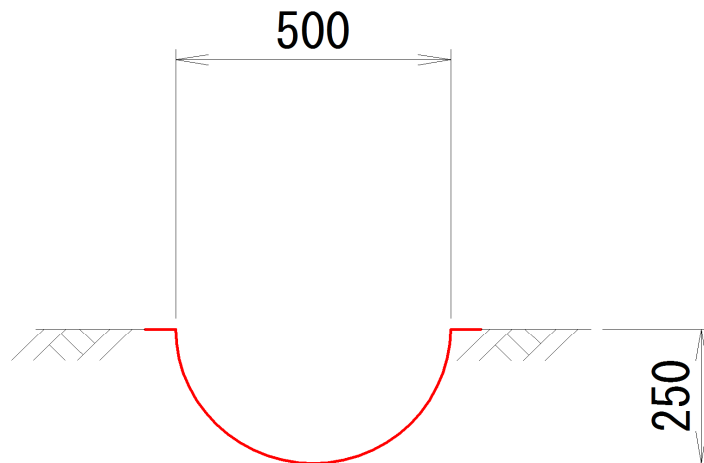
[illegible]

排水構造物工

コルゲートU字フリューム

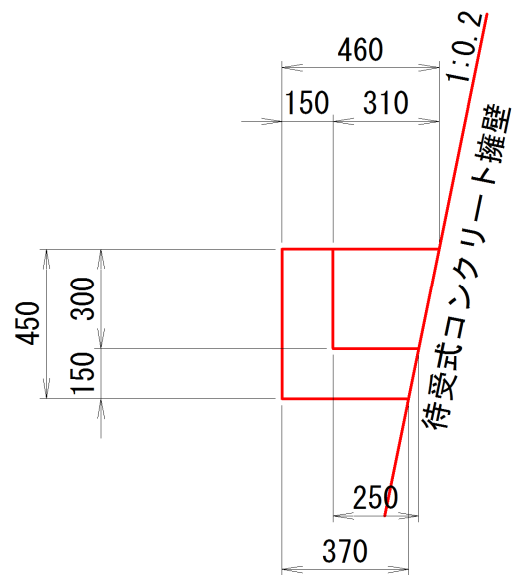
單位數量計算書

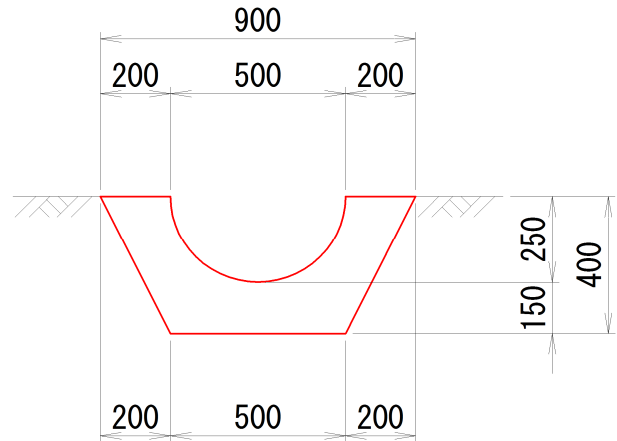
10.0 m当り



延長 35.7 m

[illegible]

[illegible]

[illegible]

6.落石雪害防護柵工

ロープ、金網(H=1.5m)

$$L = (\text{待受式コンクリート擁壁 正面図より}) = 15.0$$

中間支柱(H-200×100×5.5×8、L=2350)

$$N = (\text{待受式コンクリート擁壁 正面図より}) = 4$$

端末支柱(H-150×150×7×10、L=2350)

$$N = (\text{待受式コンクリート擁壁 正面図より}) = 2$$

7.構造物撤去工

構造物取壊し工 数量計算書(1)

測点	距離 (m)	C(Co) 既設水路等			C(As) t=4cm					
		断面積	平均	立積	幅	平均	面積			
ANO.0-0.3		0.1			0.3					
ANO.0	0.3	0.1	0.10	0.1	0.3	0.30	0.1			
ANO.0+6.5	6.5	0.1	0.10	0.7	0.2	0.25	1.6			
ANO.1	3.5	0.3	0.20	0.7	0.0	0.10	0.4			
ANO.1+6.0	6.0	0.1	0.20	1.2	0.3	0.15	0.9			
ANO.1+6.3	0.3	0.1	0.10	0.1	0.3	0.30	0.1			
ANO.1付近の街渠柵				0.2						
計	16.6			3.0			3.1			

$$\bullet \text{街渠柵} \quad V = 0.750 \times 0.500 - (0.400 \times 0.06 + 0.540 \times 0.260) \times 1.05 = 0.2$$

$$\bullet \text{As舗装: カッター切断} \quad L = = 16.6$$

$$\bullet \text{As舗装: 体積} \quad V = 3.0 \times 0.04 = 0.1$$

7-2.排水構造物撤去工

グレーチング蓋

$$N = (\text{平面図より}) = 1$$

m

本

本

摘要

m3

m

m3

枚

8.仮設工

土留、仮締切工

大型土のう袋処分

N=

151.0

=

151.0

W=

151.0×2.1

=

317.1



9.舗装工

舗装工 数量計算書(1)

測点	距離 (m)	W1(車道・路肩部) 表層(t=4cm)			W2(車道・路肩部) 上層路盤(t=7cm)			W3(車道・路肩部) 下層路盤(t=16cm)		
		幅	平均	面積	幅	平均	面積	幅	平均	面積
ANO.0		0.30			0.30			0.30		
ANO.0+6.5	6.5	0.30	0.300	1.95	0.30	0.300	1.95	0.30	0.300	1.95
ANO.1	3.5	0.40	0.350	1.23	0.40	0.350	1.23	0.40	0.350	1.23
ANO.1+6.0	6.0	0.30	0.350	2.10	0.30	0.350	2.10	0.30	0.350	2.10
計	16.0			5.28			5.28			5.28

袋
kg



摘要